



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月31日

上場会社名 株式会社遠藤照明 上場取引所 東  
 コード番号 6932 URL <https://www.endo-lighting.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 邦彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 飯島 孝 (TEL) 06-6267-7095  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	7,556	△15.6	300	△14.9	381	19.5	245	31.9
2020年3月期第1四半期	8,951	△3.5	353	6.8	319	△44.4	186	△55.0
(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期	△533百万円(—%)		2020年3月期第1四半期		368百万円(51.5%)			

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	16.60	—
2020年3月期第1四半期	12.59	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	50,078	21,555	43.0
2020年3月期	50,250	22,310	44.4
(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期	21,550百万円	2020年3月期	22,305百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の配当予想につきましては、現段階において業績予想が困難であることから未定といたします。

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

新型コロナウイルス感染症の拡大により、現時点において当社グループの事業活動への影響を合理的に算定することが困難であることから、2021年3月期の業績予想は未定とさせていただきます。今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2021年3月期1Q	14,776,321株	2020年3月期	14,776,321株
2021年3月期1Q	95株	2020年3月期	95株
2021年3月期1Q	14,776,226株	2020年3月期1Q	14,776,226株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点において新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を合理的に算定することが困難であることから未定としております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大とそれに対応する企業活動の自粛や緊急事態宣言の発出により、急速な悪化が続く厳しい状況となりました。緊急事態宣言解除後は、緩やかに経済活動が再開しつつありますが、依然として予断を許さない状況が続いています。

また、世界経済においても、欧米を中心とした深刻な感染拡大を受けた移動制限や都市封鎖などの影響から経済活動は停滞しており、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、高付加価値空間創造企業として、高い省エネ性能に加え、顧客価値を創造する光の質を高めた新製品の開発、製造及び販売に注力して参りました。その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、7,556百万円（前年同四半期比15.6%の減収）となりました。

製造部門における継続した品質改善活動及び原価低減活動並びに全社的な販売費及び一般管理費の抑制に努め、営業利益は300百万円（前年同四半期比14.9%の減益）となりました。営業外収益において、主に為替先物予約契約の実行に伴う為替差益が発生したことにより、経常利益は381百万円（前年同四半期比19.5%の増益）となりました。

この結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は245百万円（前年同四半期比31.9%の増益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### a. 照明器具関連事業

当セグメントにおきましては、業務用LED照明器具分野で業界トップクラスの品揃えを実現し、日本全国各都市のショールームを活用し積極的な販売活動を展開することで、業務用LED照明器具分野における高いブランドイメージの確立に努めました。

国内市場においては、無線照明コントロールシステム「Smart LEDZ Fit/Fit Plus」及び無線調光調色器具「Tunable LEDZ」の販売促進に注力し、既存照明器具の取り換え需要に加えて、新設の商業施設やオフィス等の大型施設向け需要の取込を目指して積極的に営業活動を推進しました。また、自然の光、カラー演出、色味調整の三役を1台で備えた次世代無線調光調色器具シリーズ「Synca」を6月に発表し、更なる価値提案を進めました。

海外市場においては、深刻な都市封鎖の影響を受けて経済活動の停滞が発生する中、リモート営業を強化いたしました。

しかし、他方で新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う新規投資の停止及び工事遅延の影響を受けました。

この結果、売上高は6,282百万円（前年同四半期比16.8%の減収）（セグメント間取引含む。以下同じ。）となり、セグメント利益（営業利益。以下同じ。）は442百万円（前年同四半期比11.0%の減益）となりました。

#### b. 環境関連事業

当セグメントにおきましては、消費電力削減だけでなく快適な空間づくりについての総合的な提案活動を強化し、食品スーパーを始めとする流通店舗を中心に販売活動を展開しました。当社グループの提供する消費電力削減効果の高い高効率LED照明器具及び顧客の商品・サービスにあわせた空間づくりが可能な制御機器が高い評価を得てレンタル契約実績は対前年同四半期比で増加いたしました。機器販売は減少しました。

この結果、売上高は1,609百万円（前年同四半期比7.6%の減収）となり、セグメント利益は108百万円（前年同四半期比14.5%の増益）となりました。

#### c. インテリア家具事業

当セグメントにおきましては、業務用家具に特化したカタログを建築士やインテリアデザイナー等に配布し積極的な販売促進活動を展開するだけでなく、従来の家具に加えて照明器具も合わせた販売促進活動を強化し、オフィスなどの新規市場の開拓に注力しました。また、更なるコストダウン、徹底的な物流合理化を推進し採算性の向上に努めました。

この結果、売上高は369百万円（前年同四半期比28.4%の減収）となり、セグメント損失は6百万円（前年同四半期は21百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、50,078百万円(前連結会計年度末比172百万円の減少)となりました。

主な要因は、「現金及び預金」の増加1,363百万円、「受取手形及び売掛金」の減少1,060百万円、「有形固定資産」の減少292百万円及び「無形固定資産」の減少220百万円によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、28,522百万円(前連結会計年度末比582百万円の増加)となりました。

主な要因は、「借入金」の増加1,321百万円、「支払手形及び買掛金」の減少649百万円及び「製品保証引当金」の減少68百万円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、21,555百万円(前連結会計年度末比754百万円の減少)となりました。

主な要因は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上245百万円、「配当金の支払い」による減少221百万円及び「繰延ヘッジ損益」の減少79百万円及び「為替換算調整勘定」の減少713百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の拡大により、家計消費や企業活動が停滞する状況が続いており、その収束時期の見通しも立っておりません。また、当社グループの主要取扱製品であるLED照明器具は、建築物等の照明設備であるため、建築需要や企業の設備投資の動向が、当社グループの業績に大きな影響を及ぼす可能性があります。

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を現時点で合理的に算定することが困難であることから未定としております。

今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,797	10,161
受取手形及び売掛金	6,250	5,189
商品及び製品	8,595	9,345
仕掛品	188	218
原材料及び貯蔵品	1,193	1,295
その他	2,428	1,586
貸倒引当金	△112	△98
流動資産合計	27,341	27,698
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,980	8,946
減価償却累計額	△3,891	△3,966
建物及び構築物(純額)	5,089	4,980
機械装置及び運搬具	2,877	2,939
減価償却累計額	△2,363	△2,431
機械装置及び運搬具(純額)	513	507
レンタル資産	13,798	13,927
減価償却累計額	△7,358	△7,613
レンタル資産(純額)	6,439	6,314
土地	3,498	3,502
リース資産	963	980
減価償却累計額	△573	△607
リース資産(純額)	390	372
建設仮勘定	471	454
その他	3,107	3,104
減価償却累計額	△2,677	△2,695
その他(純額)	429	408
有形固定資産合計	16,832	16,540
無形固定資産		
ソフトウェア	342	350
のれん	2,633	2,409
その他	87	83
無形固定資産合計	3,064	2,843
投資その他の資産		
投資有価証券	153	170
関係会社株式	21	21
退職給付に係る資産	22	35
繰延税金資産	938	894
その他	1,957	1,957
貸倒引当金	△81	△81
投資その他の資産合計	3,012	2,996
固定資産合計	22,909	22,380
資産合計	50,250	50,078

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,655	2,006
短期借入金	3,250	3,350
1年内償還予定の社債	70	70
1年内返済予定の長期借入金	4,910	4,976
リース債務	179	188
未払法人税等	486	230
賞与引当金	402	144
役員賞与引当金	79	70
製品保証引当金	570	501
その他	1,542	2,156
流動負債合計	14,148	13,695
固定負債		
長期借入金	11,107	12,262
リース債務	348	318
繰延税金負債	902	821
役員退職慰労引当金	412	407
退職給付に係る負債	170	182
その他	851	835
固定負債合計	13,791	14,827
負債合計	27,940	28,522
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,155	5,155
資本剰余金	5,539	5,539
利益剰余金	11,848	11,872
自己株式	△0	△0
株主資本合計	22,543	22,567
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4	10
繰延ヘッジ損益	176	97
為替換算調整勘定	△344	△1,058
退職給付に係る調整累計額	△74	△67
その他の包括利益累計額合計	△238	△1,017
非支配株主持分	5	5
純資産合計	22,310	21,555
負債純資産合計	50,250	50,078

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	8,951	7,556
売上原価	5,736	4,671
売上総利益	3,215	2,884
販売費及び一般管理費	2,862	2,583
営業利益	353	300
営業外収益		
受取利息及び配当金	24	28
受取賃貸料	24	27
為替差益	0	87
その他	18	28
営業外収益合計	68	171
営業外費用		
支払利息	39	35
売上割引	40	35
その他	22	19
営業外費用合計	102	90
経常利益	319	381
特別利益		
固定資産売却益	—	6
特別利益合計	—	6
税金等調整前四半期純利益	319	388
法人税、住民税及び事業税	150	157
法人税等調整額	△17	△15
法人税等合計	133	142
四半期純利益	185	245
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	186	245

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
四半期純利益	185	245
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	6
繰延ヘッジ損益	△11	△79
為替換算調整勘定	191	△713
退職給付に係る調整額	0	6
その他の包括利益合計	182	△778
四半期包括利益	368	△533
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	368	△533
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	0

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前期第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	照明器具 関連事業	環境関連事業	インテリア 家具事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	6,711	1,724	516	8,951	8,951
セグメント間の内部売上高 又は振替高	841	16	—	858	858
計	7,553	1,740	516	9,810	9,810
セグメント利益	497	94	21	613	613

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	613
セグメント間取引消去	14
未実現利益の調整額	30
全社費用(注)	△305
四半期連結損益計算書の営業利益	353

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	照明器具 関連事業	環境関連事業	インテリア 家具事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	5,587	1,598	369	7,556	7,556
セグメント間の内部売上高 又は振替高	694	10	—	704	704
計	6,282	1,609	369	8,261	8,261
セグメント利益又は損失(△)	442	108	△6	544	544

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	544
セグメント間取引消去	17
未実現利益の調整額	1
全社費用(注)	△262
四半期連結損益計算書の営業利益	300

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。